普及活動情勢報告（平成３０年４月）

幡多農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

カフェ「姫の里」のオープン　・・・大月町姫ノ井集落活動センター「姫の里」・・・

プレオープンの様子

4 月 11 日、大月町姫ノ井集落活動センター「姫の里」において、農林水産部会の取り組みの一つであるモーニングの開始に向けて試食会を行いました。

試食会では、地域住民や役場の職員をお客さんに設定し、オープン時を想定しての接客対応や厨房での作業手順、役割分担などの確認を行いました。

農業改良普及課は､4 月 25 日のオープンセレモニーの内容やホール、厨房でスムーズな運営ができるように支援を行います。

ブロッコリー共選の作業時間調査　・・県初の春ブロ共選の取り組みを拡充するために・・

選果員への聞き取り

4 月 16 日に JA 高知はた三崎支所下ノ加江事業所で、共同選荷体制の充実を図る基礎データを得るために、作業の経費を正確に算出できる作業時間の測定を行いました。

共選に参加した生産者は、「春ブロで共選を行ってくれたらブロッコリーの栽培面積を増やすことができる。」と共選の拡充に期待していました。

農業改良普及課は、関係機関と連携して生産者の支援が行える共同選果の確立を目指します。

中山間地域の農村集落を守るために　・・・津野川営農組合設立総会・・・

津野川営農組合設立総会

3 月 28 日、四万十市西土佐津野川集会所にて、農業者、地域住民、関係者合わせて 22 名が出席し、「津野川営農組合」の設立総会が開催されました。

組合員数は 20 名で、組合活動を通じて基盤整備の終了した津野川集落の農地を守っていく予定です。

初年度は、水稲（飼料用米）の協業経営と乾燥、籾摺作業を受託する計画です。

農業改良普及課では、組織の経営安定に向けて、施設・機械の計画的な導入や経営面全般への支援を行っていきます。

中山間地域の農村集落を守るために　　・・・えいのうとみやま設立総会・・・

えいのうとみやま設立総会

3月25日、四万十市富山地区集会所にて、農業者、地域住民、関係者合わせて17名が出席し、「えいのうとみやま」の設立総会が開催されました。

組合員数は9名ですが、若い後継者も多く参加しており、将来的には地域の農地集積を行い組織で農地を守っていく計画です。

初年度は、「ぶしゅかん」10aの協業経営と農作業受託を行い、徐々に活動を拡大していく予定です。

農業改良普及課では、今後、組織の運営や施設・機械の計画的な導入などの支援を行っていきます。

米ナス雨よけ設備設置をみんなで！　　・・・西土佐地区新規就農者ほ場準備・・・

作業中のほ場の様子

3月29日、四万十市西土佐大宮地区において、新規就農者の米ナス栽培ほ場の簡易雨よけ設備設置作業が行われました。作業には振興センターから3名、地域の先輩農家や市役所、JA高知はた西土佐支所の職員など約15名が参加し、資材を運んだり、柱を組んだりと、熱心に取り組みました。その結果、1日で組み立てることができました。

今後、農業改良普及課では、定期的な巡回指導や現地検討会を通じて、新規就農者の技術向上と安定収量の確保を目指します。

ぶしゅかん栽培状況調査　　・・・チェック表で問題を明らかに・・・

巡回中チェックの様子

4月17日、ぶしゅかん生産者の栽培技術の底上げのため、四万十市農林水産課の担当者と生産者組合の役員と共に栽培状況調査を行いました。

農業改良普及課では、「ほ場状況チェック表」を作成し、ほ場の問題点を明らかにすると共に認識を共有するため参加者全員でほ場状況を数値化（見える化）することを目指しています。

将来、担当者が変わっても、生産者へのアドバイスができる体制作りのため、今後もチェック表の改善を進めていきます。

収量・品質の向上に向けて　　・・・JA 高知はた三崎支所後作オクラ部会・・・	
 現地検討会の様子	4 月 19 日、JA 高知はた三崎支所管内の現地ほ場で現地検討会及び目慣らし会を開催し、生産者 5 名が参加しました。 農業改良普及課は、現地検討会で灰色かび病の防除方法やハウス内の温度管理、また GAP の取り組みについて情報提供を行いました。目慣らし会では、出荷規格や出荷の注意点について生産者同士で情報交換が行われました。 農業改良普及課では、関係機関と連携しながら適切なかん水・施肥などの栽培指導を行っていきます。